

提出された意見の要旨及び県の考え方

長崎県読書バリアフリー推進計画（案）について、パブリックコメントを実施しましたところ、貴重なご意見をいただき厚くお礼申し上げます。

いただいたご意見に対する考え方をまとめましたので公表します。

1. 募集期間 令和4年10月26日（水）～11月25日（金）

2. 募集方法 電子申請、郵送、ファクシミリ

3. 閲覧方法 県ホームページに掲載
長崎県教育庁生涯学習課
県政情報コーナー（県庁県民センター内）
各振興局行政資料コーナー（長崎振興局を除く）
長崎県立長崎図書館総務課
長崎県視覚障害者情報センター
長崎県立盲学校

4. 意見の件数 9件（8名）

5. 意見の反映状況

区分	対応内容	件数
A	案に反映させるもの	0
B	案に既に盛り込まれているもの、案の考え方や姿勢に合致し、今後、遂行の中で反映させていくもの	5
C	今後の施策を進める際の参考等とするもの	1
D	反映が困難なもの	0
E	その他	3
合計		9

6. 提出された意見の要旨及び県の考え方

番号	区分	意見の要旨	意見に対する考え方
1	B	特別支援学校などに通う子供は、このような読書サービスを知っていると思うのですが、うちの場合どこからもそういった情報は入ってきませんでした。通常の学級に通う子供にも、その子に合った情報を教えてほしいです。	計画案 12 ページの第 4 章 3(2)に示しているとおおり、「社会教育関係者や学校教育関係者を対象とした研修会等」の場を活用し、通常の学級にも支援が必要な児童生徒が在籍していることや、読書支援サービスについての周知を行い、児童生徒に必要な情報が伝わるよう努めてまいります。
2	E	素案の内容で問題ないと思料する。	今後、本推進計画に基づき、読書バリアフリーの充実を図ってまいります。
3	C	これからの視覚障害者の子供たちは教材で門前払いされるようなことがないようにお願いしたい。国には意見を投稿していますが長崎県でも取り組まれていただきたい。また、ロービジョンなど様々に視力に問題がある子供は実際の能力を伸ばし難い。最近の子供たちは支援が充実していると聞くが成人期でも、就労の場面、進学の場面、就労にあたっては特に難しいのでジョブコーチなど人生を安定させる支援をお願いしたい。	視覚障害がある子供が利用しやすい教材の充実・活用促進についての御意見、視覚障害がある生徒（ロービジョン等の生徒も含む）への進学・就労支援についての御意見は、県の関係機関や学校教育関係者等とも共有してまいります。今後の施策を進める際の参考とさせていただきます。
4	B	iPad 等を利用した際の眼精疲労等への理解も必要なことを知っていて欲しい。また、バリアフリーに理解のバリアフリーも付け加えてお願いしたい。	計画案 11 ページの第 4 章 3(2)に示しているとおおり、「読書バリアフリーの意義や取組について県民に広く周知」する際には、視覚障害者等の実態や心情等についての理解が深まるよう十分配慮し、共生社会の実現に向けた気運が高まるよう努めてまいります。

5	B	<p>発達障害のある子供の親として、字を読むのが苦手でも、地図が好きだったり、お話の意味がわからなくても、絵が好きでその本がお気に入りだったり、いろいろな本に触れる機会が増えることで、その子の得意なことが見つかったり、会話が増えたり、きっと良いことばかりなのに、なかなかその環境が作れずに、残念な思いをしている保護者はたくさんいると思います。どんな人でも、気軽に足を運ぶことができる図書館があったら、嬉しいです。</p>	<p>計画案 10 ページの第 4 章 2(2)(3)に示しているとおおり、全ての人にとって利用しやすい図書館となるよう、環境整備や職員等への研修の充実に努めてまいります。</p> <p>特に、発達障害がある子供が気軽に利用できる環境づくりについては、様々な機会を通してその必要性を周知してまいります。</p>
6	E	<p>原案通りでいいと思います。みんなが楽しめる図書館ができるといいですね。</p>	<p>今後、本推進計画に基づき、読書バリアフリーの充実に努めてまいります。</p>
7	E	<p>良い取り組みだと思います。</p>	<p>今後、本推進計画に基づき、読書バリアフリーの充実に努めてまいります。</p>
8	B	<p>今後、パソコンやアプリなどによる自動音声変換が不可欠になると考えます。このテキスト化（+誤字等の訂正）のボランティアであれば、音訳するよりはるかに時間は少なくて済みますし、特別な技術は必要ありません。公立図書館でサービスできれば、図書館所有の書籍等も利用でき、雑誌等の購入費の利用者負担も少なくて済みます。また、自動音声は一定なので、とくに、専門書や実用書、参考書等には適していると思われます。文字を自動音声にまかせることで、音訳者は、図や写真、グラフなど、音訳の技術が必要な部分に力を注ぐといった分担作業で効率化が図れないでしょうか。</p>	<p>計画案 11 ページの第 4 章 3(1)に示しているとおおり、音訳ボランティア団体の方々と連携し、自動音声変換機能等を活用した、より効果的で効率的な音訳方法についての情報共有に努めてまいります。</p>

9	B	<p>みんなで障害の大変さを理解すべきです。成果指標⑦はぜひ増やしてください。</p> <p>障害者に優しい社会が、高齢者にとっても子供にとっても住みやすいと思います。最先端を走っている人にばかり恩恵が行くのではなく、その人たちも被るかもしれない障害やいずれ訪れる老齢期に穏やかな社会であってほしいです。</p>	<p>計画案 13 ページの成果指標 7 では、評価の対象として代表的な 3 つの研修会を挙げております。より多くの方が障害者への理解を深めることができるよう、関係機関が実施するその他の研修会においても、読書バリアフリーの意義や取組の周知を図ってまいります。</p>
---	---	--	---